

昭和初期にいくつもの傑作短編を発表して自ら逝った
「知ら人ぞ知る作家」の作品世界を、牧野信一に惚れこん
だ朗読の名手が、熱くかつクールにライブで再現します。

かくも美しく、かくも笑ってしまう…

<ライブ朗読> 牧野信一作 『天狗洞食客記』

朗読：薮(しとみ)英治(俳優)

解説：柳沢孝子(日本橋学館大学教授)

2010年 **4 / 10 (土)**

(第3回図書館祭開催日)

14 : 30開演 (14 : 00開場)

入場無料・事前申込(先着順・満員になり次第締切)

場所／日本橋学館大学図書館2階「にもれびホール」

募集人数／150名

申込方法／ 図書館カウンター、もしくは下記記載電話にて

年齢制限／小学生以上の方

日本橋学館大学図書館

ほほ月らいぶ(その14)

2010. April

問合せ先/TEL04-7167-8655(代) E-Mail/library@nihonbashi.ac.jp

<http://www.nihonbashi.ac.jp/library/>

日本橋学館大学図書館 検索



ライブ朗読

牧野信一作『天狗洞食客記』

作家・朗読者について

■ 牧野信一（1896-1936）



神奈川県小田原市に士族の末裔として生まれる。幼少時に父久雄が渡米。父のもたらす英語の読み物などに囲まれ、特異な少年期を過ごす。早稲田大学文学部入学頃より創作を開始、私小説全盛の大正時代後半に作家として出発、葛西善蔵・宇野浩二らの知遇を得る。昭和に入り、『ギリシャ牧野』と称されるきわめてユニークな短編作品の一群を発表し、坂口安吾、小林秀雄、河上徹太郎など次代の文学をになう若手の賞賛を受けるが、昭和11年3月小田原自宅で縊死。当時の文壇に衝撃を与える。

2001年に筑摩書房『牧野信一全集』（全6巻）刊行。

2003～05年、三鷹『文鳥舎』で薜英治による連続朗読会が行われ、代表作10篇が上演され好評を博す。

今回朗読される「天狗洞食客記」は、めったに旅行しない牧野信一が水戸市の親族を訪問した際の体験から着想したといわれる。自己喪失寸前の青年、美少女武芸者、偏執的教師匠の3人が『天狗洞』と呼ばれる道場を舞台に織りなす夢幻的な作品。

■ 薜 英治（しとみえいじ）



シェイクスピア・シアターにて、シェイクスピア作品に多数出演。退団後、「哀愁橋」、「イリノイのリンカン」（シャーウッド・作）等の英米現代演劇に出演。

ヴィオロン朗読会をはじめ、グローブ朗読会、武宮朗読会にて、ディケンズ、ホーソン、ポー、チェーホフ、中原中也、小林秀雄等を朗読。また2004年～2005年「文鳥舎ことのはライブ」で牧野信一作品を連続朗読。

2008年には、牧野生誕地小田原にて「心象風景」、「ゼーロン」朗読。

2008年-2009年に荻窪・調布で上演された群読劇「クリスマス・キャロル」では、自ら出演のほか台本、演出も担当。

■ 解説 柳沢孝子



日本近代文学専攻。日本橋学館大学教授。

著書に『牧野信一—アイデアの獵人』（小沢書店）がある。

他に『宇野浩二と牧野信一・夢と語り』（編著、有精堂）、福武文庫『バラルダ物語』（解説）、

『宇野浩二日記』（共編著、日本近代文学館）など。

牧野信一『天狗洞食客記』朗読会 会場のご案内

2010年4月10日(土) 午後2時開場、2時30分開演

日本橋学館大学図書館「こもれびホール」へのアクセス

所在地：千葉県柏市柏 1225-6

電話：04-7167-8655



バス時刻表（戸張行き。大学 WEB サイトより）

戸張行き		
時刻	土曜日	
	(略)	
12	03 22 40 56	
13	12 34 54	
14	12 26 48	
15	06 22 43	
16	05 23 37 54	
	(略)	